

後
期

アクロス 歴史文化カレッジ

令和2年度
大東市立生涯学習センター **アクロス** 主催
協力：NPO 法人地域文化調査研究センター

特別講義

9月21日(祝・月) 午前10時～正午
三好長慶と松永久秀の関係 600円
(当日支払い)

歴史文化カレッジ開校式と兼ねて、
大東歴史の伝道師、天野忠幸先生が講演します。
長慶と久秀について近年の研究成果に基づいた新しい
戦国時代像を描きます。

11月22日(日) 午後1時30分～4時30分
関西城郭サミット2020 飯盛城 1,000円
飯盛城跡 調査研究の到達点 (当日支払い)

調査と「報告書」の作成に携われた先生方に
飯盛城跡の調整成果についてお話いただきます。

日曜
コース

>> 北河内の古墳と古墳群

百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に選定されて、
各地の古墳と古墳群に関心が集まっています。
大東市を中心とする北河内地域にも個性的な
古墳と古墳群が多く分布しています。
このコースでは多様な角度から古墳を分析し、
この地域の古墳時代の特性について考えます。

- 9月13日 大阪の古墳と古墳群
廣瀬 時習(近つ飛鳥博物館)
- 10月11日 ささら(讃良)の古墳
實盛 良彦(四條畷市教育委員会)
- 11月8日 石の宝殿と北河内の終末期古墳
濱田 延充(考古学研究会全国委員)
- 12月13日 河内馬飼と韓国の前方後円墳
田中 清美(帝塚山学院大学講師)
- 1月10日 堂山古墳とその世界
黒田 淳(大東市教育委員会)

午前10時～正午

当日支払い 1回600円

土曜
コース

>> 河内人の生活文化

江戸時代から豊かな河内の地域にはモノを
生み出すこと、日常の生活風習、信仰など
さまざまところで独自の文化が生まれて
いました。ちょっと前までなら日常的に眼に
するものも多くありました。
このコースでは高度経済成長期以前の河内の
人々の生活文化について考えます。

- 9月26日 今東光が描く河内人の世界
伊東 健(八尾市役所)
- 10月24日 河内人の生活文化
伊藤 廣之(元大阪歴史博物館)
- 11月21日 踏車の生産とひろがり
橋本 貴明(長岡京市役所)
- 12月26日 生駒の神々
小林 義孝(摂河泉地域文化研究所)
- 1月23日 河内木綿と藍染め
中井 由榮(河内木綿はたおり工房)
河内木綿の盛衰
小林 義孝(摂河泉地域文化研究所)

午前10時～正午

当日支払い 1回600円

会場 アクロス4F
多目的室

定員 各30人

申込 8月6日(木)より受付開始

お申込み・お問い合わせ
大東市立生涯学習センター **アクロス**
〒574-0036 大阪府大東市末広町1-301
ローレルスクエア住道サントワー内※JR住道駅南側高層マンション内
TEL: 072-869-6505 FAX: 072-870-1405
E-mail: info@daito-across.jp HP: 「大東 アクロス」で検索
開館時間: 午前9時～午後10時 休館日: 第2木曜日

■当センターの駐輪場は狭いのでなるべく公共交通機関や徒歩でお越し下さい。

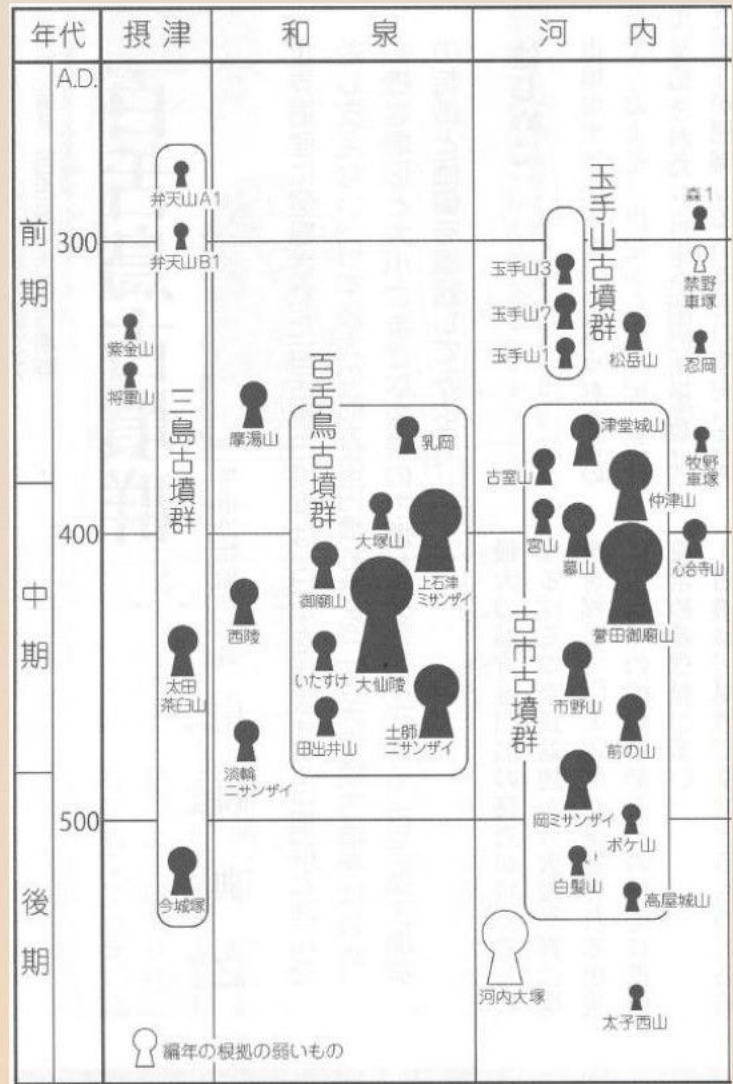
講座の主な内容

北河内の古墳と古墳群

昨年、百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に選定されて、大阪の古墳と古墳群に注目が集まっています。巨大な前方後円墳は、日本列島に割拠した勢力の関係を示し、地域の中のさまざまな形と大きさの古墳は当時の地域社会の姿を表します。

今回の講座では大東市を中心とする北河内の個性的な古墳と古墳群を紹介して、多様な角度から分析し、この地域の古墳時代の特性について整理します。

さらに河内湖の湖岸に展開していたこの地域は、朝鮮半島との関係が深く、かの地で発見された前方後円墳の問題も射程に入れながら、東アジアの世界におけるこの地域の古墳について考えます。

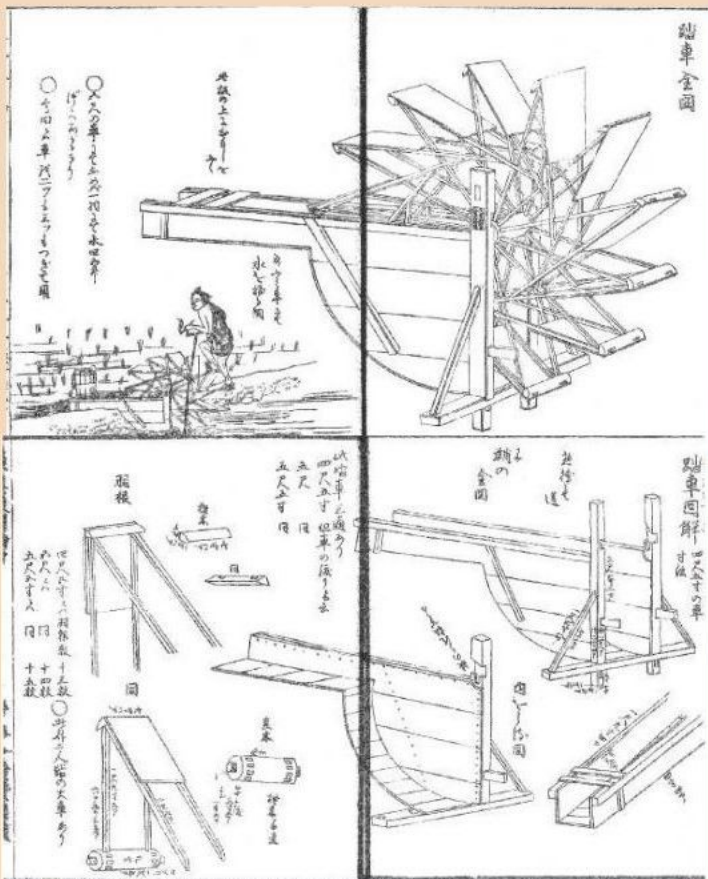


廣瀬時習氏「おおさかの古墳と古墳群」(『大阪春秋』177)より

河内人の生活文化

河内の地域は豊かな農業生産力をもち、大坂のまちの近郊として発展しました。綿作は稲作の三倍の収益が上がるとされ、年貢として納める米を購入していたといわれます。領主様の〈搾取〉におびえる農民の姿とは無縁な世界が河内には展開していました。そこで培われたさまざまな人々の生活の中から生まれた文化について考えます。

〈河内の百姓は楠公さんの家来の子孫だ〉という人々の思い、生駒の神仏に求めるもの、土地柄から用いられた特異なモノ、そんなちよっと前までわたしたちの日常のなかにあった人々の生活と文化を紹介します。



大蔵永常『農具便利論』より